



# 認定証

〔試験所（申請者/法人名）〕

株式会社 富士通ゼネラルイーエムシー研究所

〔試験所所在地〕

川崎市高津区末長3丁目3番17号

〔試験場〕

富士通ゼネラルイーエムシー研究所

標記試験所は、VLAC-VR100A〔試験所の認定に関する規定（ISO/IEC17025：2017版）〕に基づき認定されたことを証する。

この認定は標記試験所が認定範囲において ISO/IEC 17025:2017 の技術的能力要求事項およびマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです。

認定番号 VLAC-041

認定年月日 2014年12月8日

更新年月日 2024年6月29日

有効期限 2026年6月28日

株式会社 電磁環境試験所認定センター

センター長 峰 眞二





# 認定範囲

(試験区分)

認定番号 VLAC-041

有効期限 2026年6月28日

[試験所 (申請者/法人名)]

株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所

[試験場]

富士通ゼネラルイーエムシー研究所

[試験場所在地]

川崎市高津区末長3丁目3番17号

[認定試験区分]

## エミッション試験

放射妨害波 エンクロージャーポート

妨害波電界強度試験

[試験条件] 基準大地面上 測定距離: 10 m, 測定周波数範囲: 30 MHz~1 GHz

[試験条件] 準自由空間 測定周波数範囲: 1 GHz~40 GHz

妨害波磁界強度試験

[試験条件] ループアンテナ

妨害波電力試験

[試験条件] 吸収プランプ

伝導妨害波 AC電源ポート

妨害波電圧試験

[試験条件] 擬似電源回路網, 高インピーダンスプローブ

伝導妨害波 通信ポート

妨害波電圧試験

[試験条件] 不平衡擬似回路網

妨害波電流試験

[試験条件] 電流プローブ

伝導妨害波 DC電源ポート

妨害波電圧試験

[試験条件] 擬似電源回路網

## イミュニティ試験

静電気放電試験

接触放電, 気中放電, 間接放電

放射電磁界イミュニティ試験

測定周波数範囲: 80 MHz~6 GHz

近接電磁界イミュニティ試験

測定周波数範囲: 9 kHz~26 MHz

電氣的過渡バースト試験

電源ポート, 通信/信号ポート

サージ試験

電源ポート, 通信/信号ポート

無線周波伝導妨害試験

電源ポート 測定周波数範囲: 150 kHz~230 MHz

通信/信号ポート 測定周波数範囲: 150 kHz~230 MHz

電源周波数磁界イミュニティ試験

電源瞬停・ディップ試験

## 電源高調波試験

高調波電流試験

電源電圧動揺・フリッカー試験



# VΛC

通信機器性能試験 2  
磁界強度試験

〔試験条件〕 磁界プローブ

株式会社 電磁環境試験所認定センター

センター長 峰 眞二



# VΛC



# 認定範囲

(試験規格)

認定番号 VLAC-041

有効期限 2026年6月28日

[試験所 (申請者/法人名)]

株式会社富士通ゼネラルイーエムシー研究所

[試験場]

富士通ゼネラルイーエムシー研究所

[試験場所在地]

川崎市高津区末長3丁目3番17号

[認定試験区分]

エミッション試験

VCCI技術基準:VCCI-CISPR 32:2016

J55011(H27), J55014-1(H27), J55015(H29), J55032(H29), CISPRJ 32:2017

電気用品の雑音の強さの測定方法(4章,5章)

FCC 47 CFR Part 15 Subpart B: ANSI C63.4-2014 (測定上限周波数40GHz)

CISPR 11:2015+A1:2016+A2:2019, CISPR 14-1:2020, CISPR 15:2018, CISPR 22:2008

CISPR 32:2015+A1:2019

EN 55011:2020+A2:2021, EN 55014-1:2017+A11:2020, EN IEC 55014-1:2021

EN IEC 55015:2019+A11:2020, EN 55022:2010, EN 55032:2015+A11:2020+A1:2020

AS CISPR 11:2017, AS/NZS CISPR 14.1:2021, AS CISPR 15:2017

AS/NZS CISPR 22:2009+A1:2010, AS/NZS CISPR 32:2015+A1:2020

ICES-003(Issue 7), CNS 13438:2006,

IEC 61000-6-3:2020, IEC 61000-6-4:2018

EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN IEC 61000-6-3:2021

EN 61000-6-4:2007+A1:2011, EN IEC 61000-6-4:2019

AS/NZS 61000.6.3:2021, AS/NZS 61000.6.4:2012, AS 61000.6.4:2020,

EN 300 386:V.2.1.1 / V.2.2.1, EN 301 489-1:V.2.2.3, EN 301 489-3:V.2.1.1, EN 301 489-17:V.3.2.4

下記の規格群は、EMC試験(エミッション試験、イミュニティ試験、電源高調波試験)に限定。[注1]

IEC 61326-1:2020, IEC 61326-2-1:2012 /-2-2:2012 /-2-6:2012

EN 61326-1:2013, EN 61326-2-1:2013 /-2-2:2013 /-2-6:2013

EN IEC 61326-1:2021, EN IEC 61326-2-1:2021 /-2-2:2021 /-2-6:2021

IEC 60601-1-2:2014+A1:2020, EN 60601-1-2:2015+A1:2021

JIS T 0601-1-2:2018 / 2023

[注2] エミッション試験において、設置場所における測定は認定範囲外である。



### イミュニティ試験

[注1] に記載した試験規格を含む

IEC 61000-4-2:2008 /-4-3:2006+A1:2007+A2:2010 /-4-3:2020 /-4-4:2004+A1:2010 /-4-4:2012  
/-4-5:2005 /-4-5:2014+A1:2017 /-4-6:2008 /-4-6:2013 /-4-8:2009 /-4-11:2004+A1:2017 /-4-11:2020  
/-4-34:2005+A1:2009 /-4-39:2017  
EN 61000-4-2:2009 /-4-3:2006+A1:2008+A2:2010 /-4-4:2004+A1:2010 /-4-4:2012 /-4-5:2006  
/-4-5:2014+A1:2017 /-4-6:2009 /-4-6:2014 /-4-8:2010 /-4-11:2010+A1:2017 /-4-34:2007+A1:2009  
/-4-39:2017, EN IEC 61000-4-3:2020 /-4-11:2020

CISPR 14-2:2020, CISPR 24:2010+A1:2015, CISPR 35:2016  
EN 55014-2:2015, EN IEC 55014-2:2021, EN 55024:2010+A1:2015, EN 55035:2017+A11:2020  
IEC 61000-6-1:2016, IEC 61000-6-2:2016  
EN 61000-6-1:2007, EN IEC 61000-6-1:2019, EN 61000-6-2:2005, EN IEC 61000-6-2:2019  
EN 61547:2009

### 電源高調波試験

[注1] に記載した試験規格を含む

IEC 61000-3-2:2018+A1:2020, EN 61000-3-2:2014, EN IEC 61000-3-2:2019+A1:2021  
JIS C 61000-3-2:2019  
IEC 61000-3-3:2013+A1:2017+A2:2021, EN 61000-3-3:2013+A1:2019+A2:2021  
IEC 61000-3-11:2017, EN 61000-3-11:2000, EN IEC 61000-3-11:2019  
IEC 61000-3-12:2011+A1:2021, EN 61000-3-12:2011  
IEC 61000-6-3:2020, EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN IEC 61000-6-3:2021

### 通信機器性能試験 2

IEC 62233:2005, EN 62233:2008

株式会社 電磁環境試験所認定センター

センター長 峰 眞二



試験所は上記の試験規格内に記述された試験活動に対してのみ認定される。

規格番号に版または年号が併記なき場合は、認定証発行時（2024.6.29）の最新版を意味する。